

第 13 回熊本県腎不全看護研究会

アンケート集計結果

94 名中 アンケート回収 80 名 回収率 85 %

日時 2013 年 9 月 8 日(日)9:45～

場所 済生会熊本病院 外来がん治療センター

4F コンベンションホール

【情報提供】9:45～

【特別講演】 10:10～12:00

『透析看護を再考する』

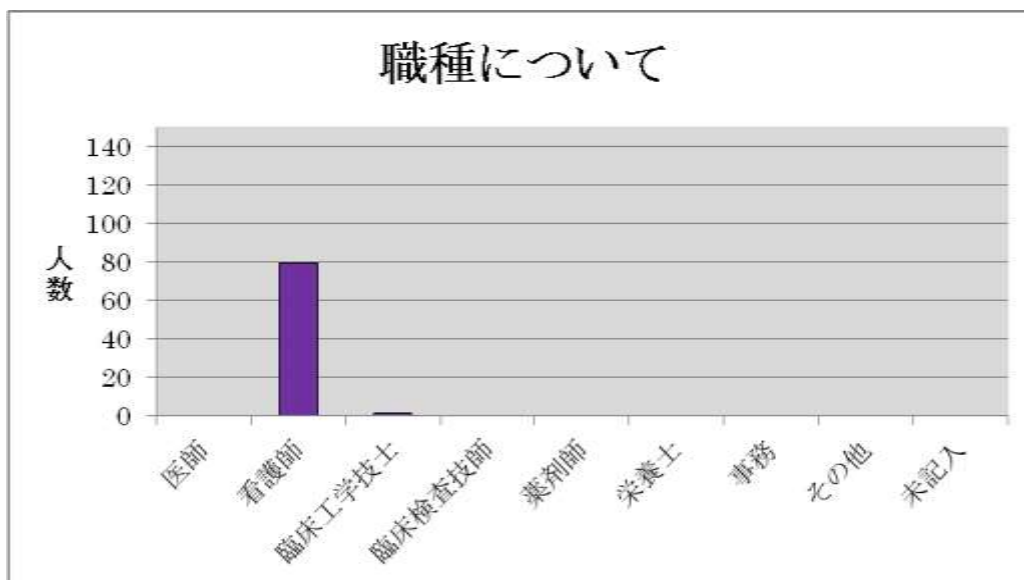
～チーム医療と看護の役割を考える～

日本腎不全看護学会 理事長

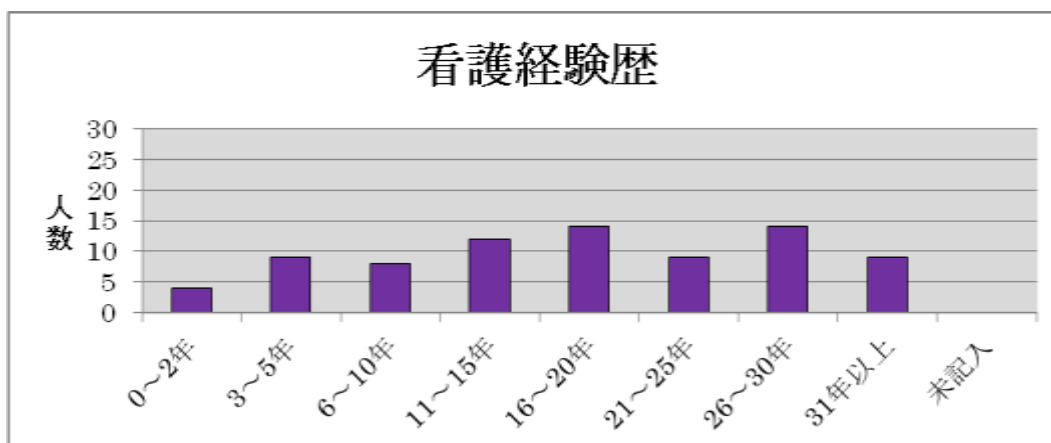
葉山ハートセンター看護部長 水附裕子先生

研究会アンケート結果

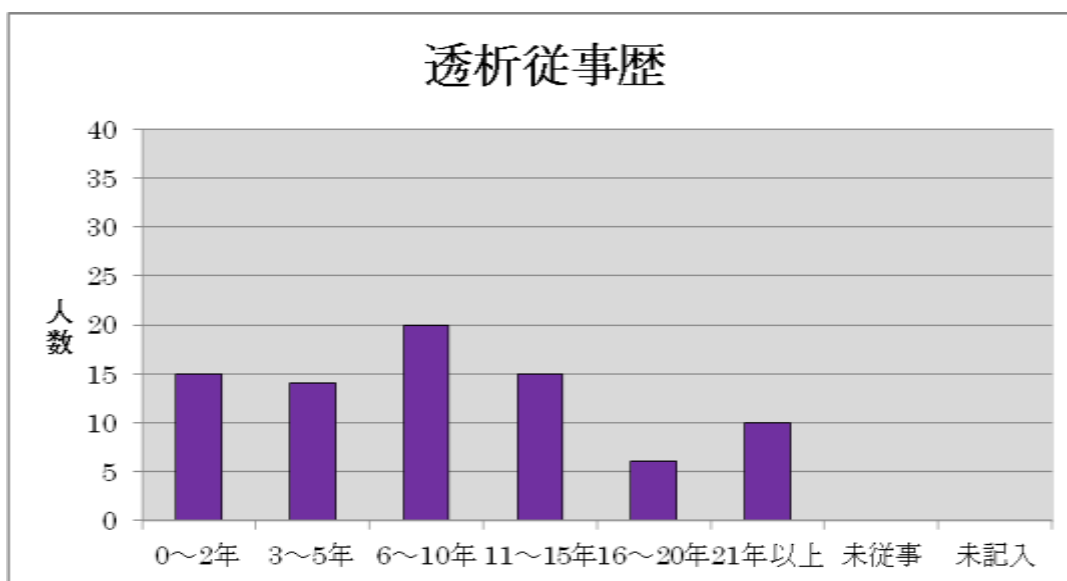
Q1：職種について



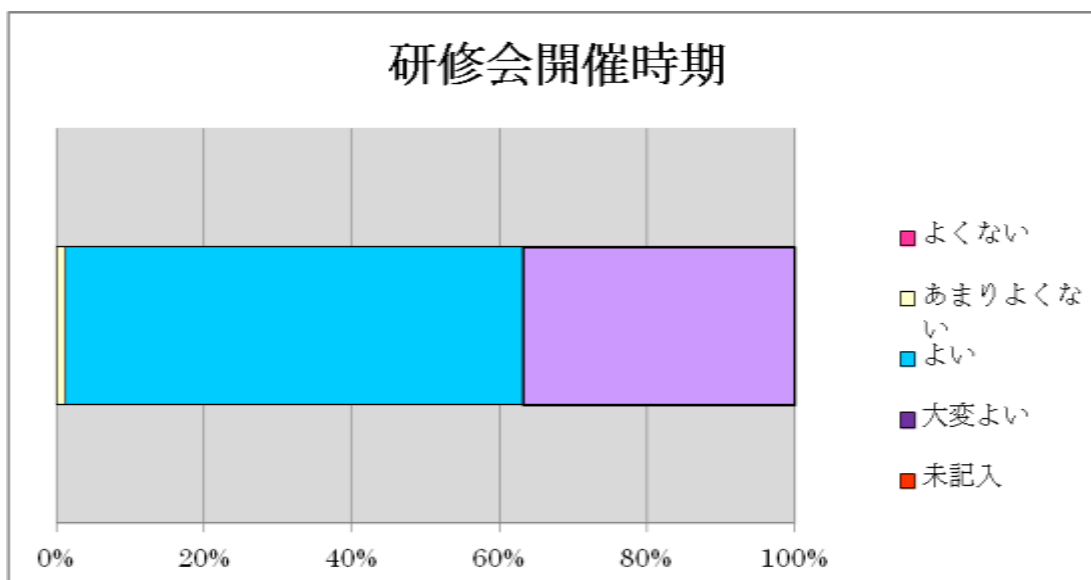
Q1-※：看護経験歴



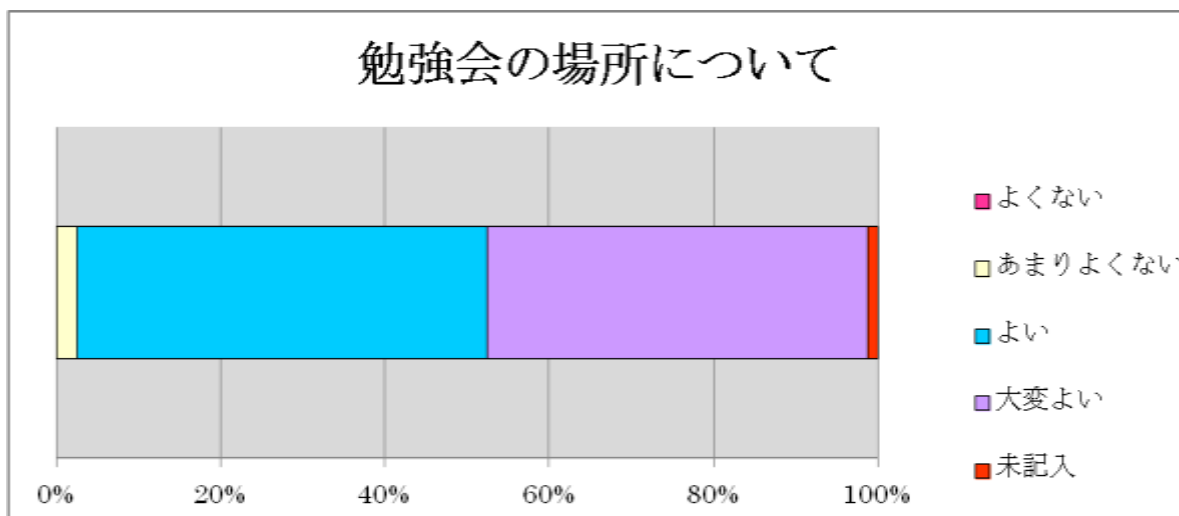
Q2：透析従事歴



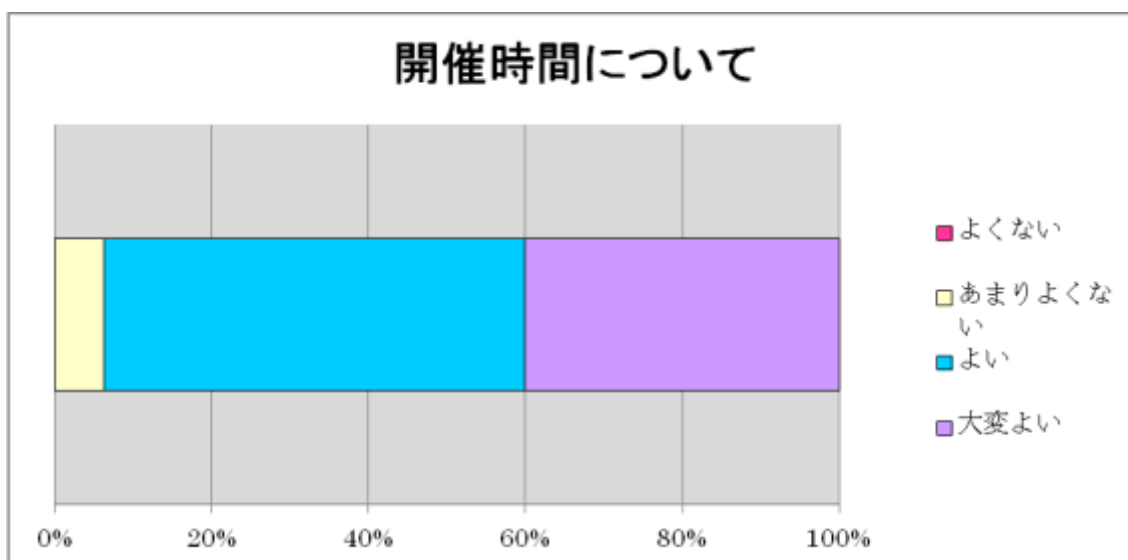
Q3-1：研修会の開催時期



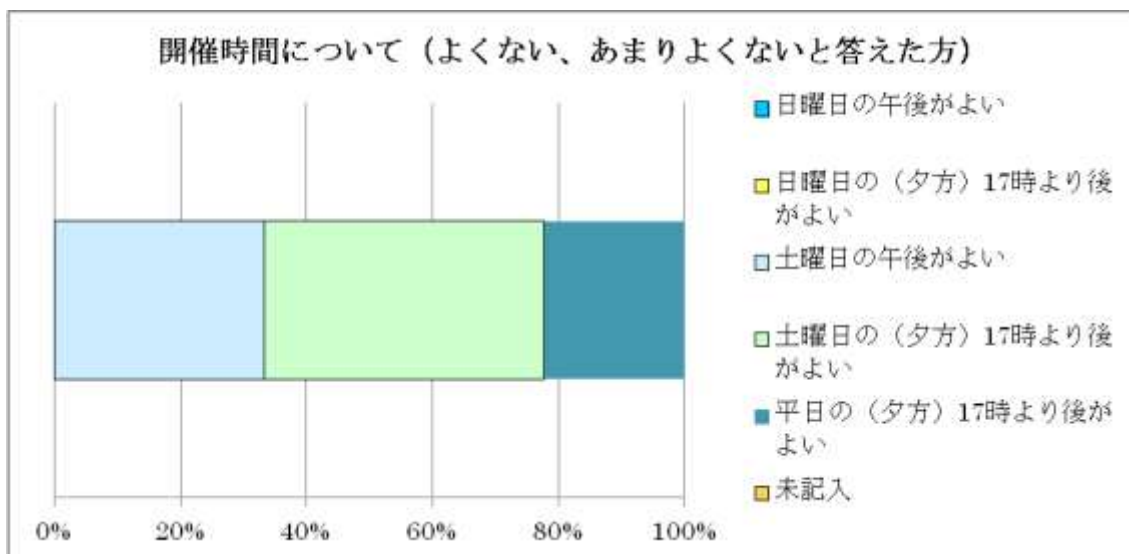
Q3-2：場所について



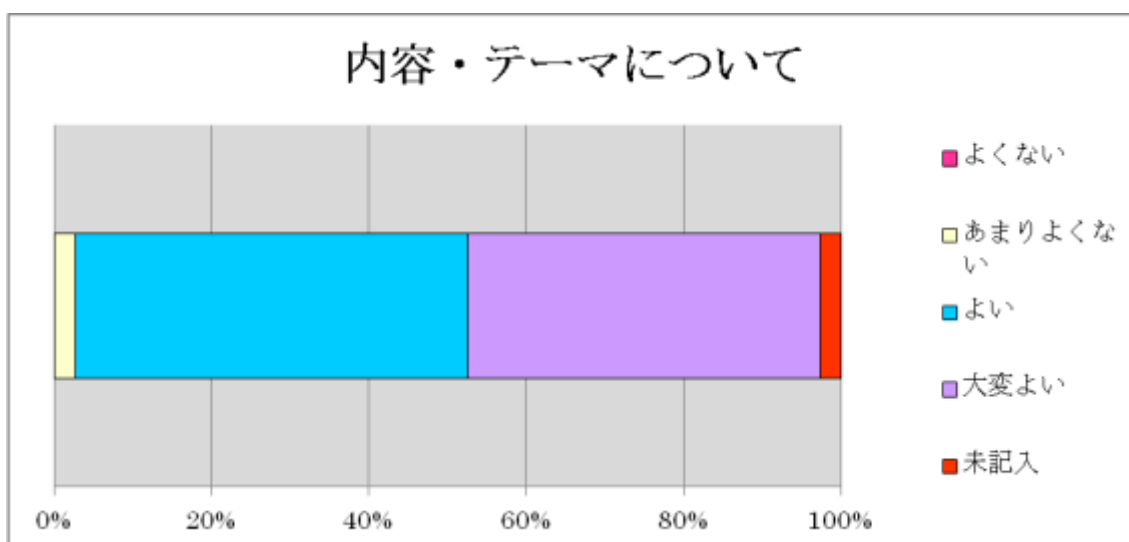
Q3-3：開催時間について



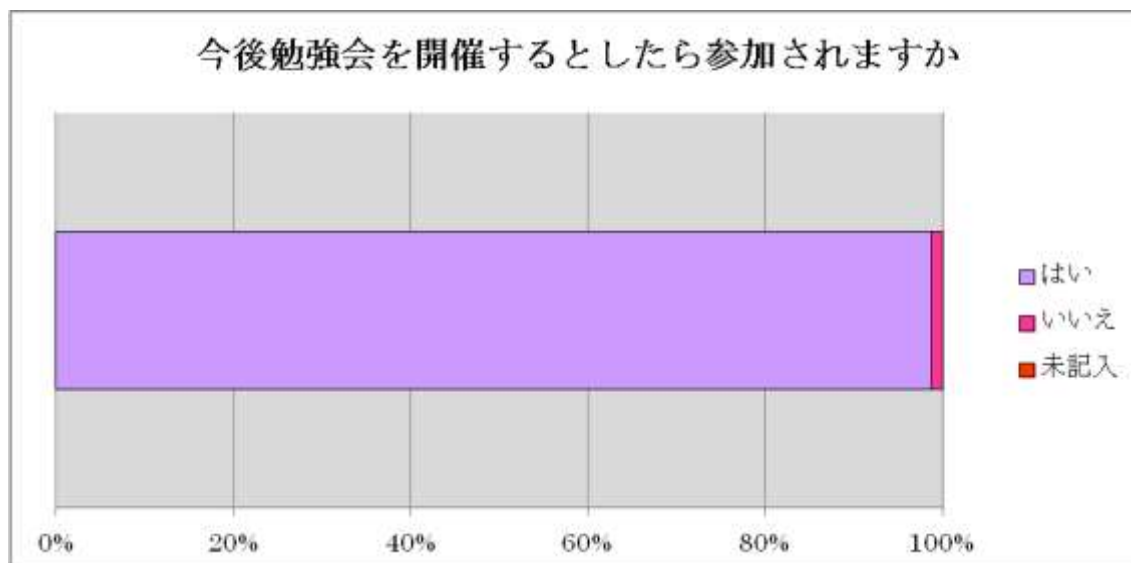
3-3：開催時間について(よくない、あまりよくない)



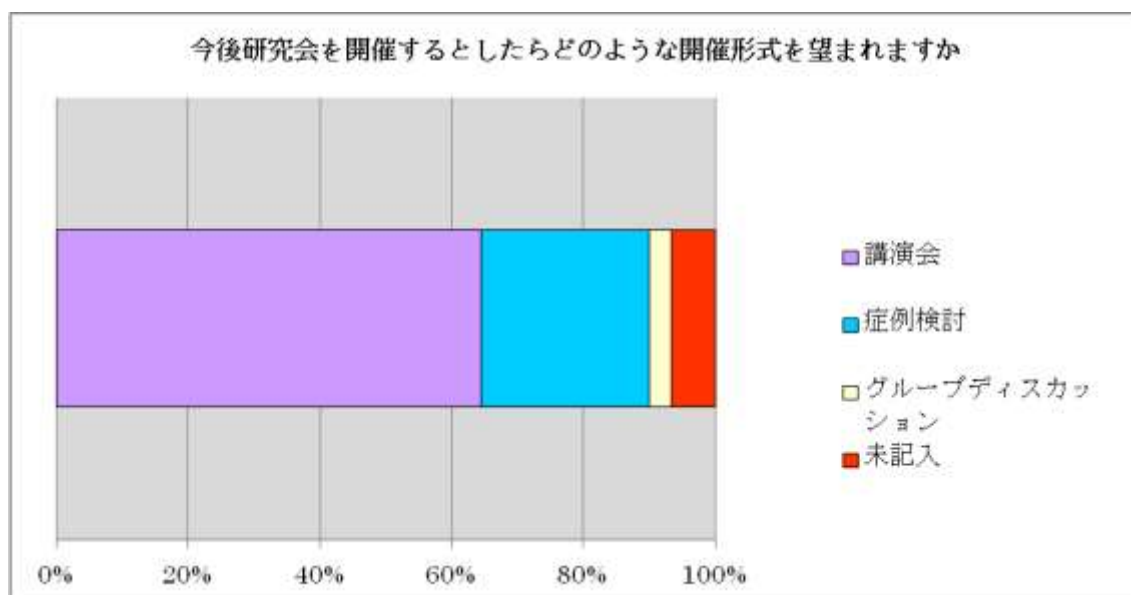
Q3-4：内容・テーマについて



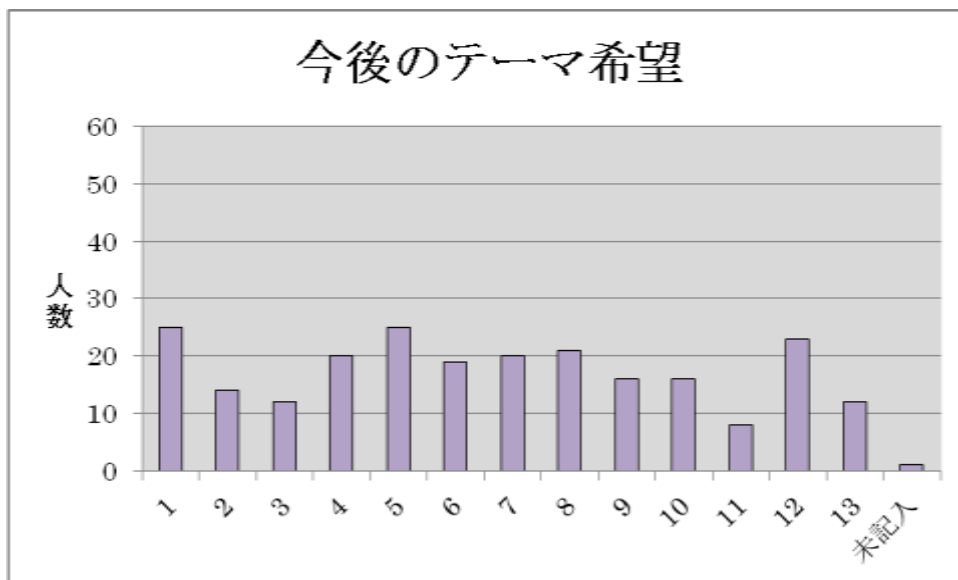
Q4：今後もご参加いただけますか？



Q5：開催するとすれば、どのような方法を望まれますか？



Q6: 今後取り上げてほしいテーマがあれば御記入ください。



- ①患者教育、患者指導（自己管理）
- ②糖尿病、糖尿病性腎症
- ③栄養指導、食事指導（実際の指導について）、食事管理
- ④記録、看護記録
- ⑤災害時訓練（Ns の対応）、災害対策
- ⑥感染、透析室の感染予防
- ⑦認知症対応、認知症患者とのかかわり方
- ⑧透析中のリスク→症例、対策など
- ⑨医療安全、リスマネジメント、医療事故（トラブル、記録）
- ⑩長期留置カテーテルについて
- ⑪腹膜透析、看護について
- ⑫スタッフと患者のコミュニケーションの取り方
- ⑬コーチング
- ⑭未記入

Q7：上記以外で取り上げてほしいテーマ等あれば記入ください。

・ナラティブ

・福祉について。透析患者の高齢化に伴い、福祉サービス、福祉を利用することになると思いますが透析の患者さんだから使えるもの使えないものなどあるのではないかと思います。サービス利用について知りたいと思います。

・患者様をサポートする家族の思いなど患者会ではないのですが、医療スタッフとして家族への配慮なども症例を含めて取り上げて欲しいと思います。

・認知行動療法など

・腎移植、CKDについて

・新人教育やスタッフ教育に関しての現状、教育体制など。人材育成

・スタッフ同士の関わり方(伝達方法、統一した処置を行うために)

・合併症をもつ患者のその人に合わせた支援、生活調整とは、具体的症例中心にお願いしたい)

・腎移植の実際

・岡崎光洋先生

・長時間、在宅透析、シャント管理、穿刺方法(感染予防)運動療法、導入期指導

Q8：その他、意見、要望、改善点等ありましたらお聞かせください。

・歴史を話されても・・・現在医療や未来の医療がこれからのスタッフには適している

・水附先生のご講演ありがとうございました。透析の歴史から始まり、タイトルの通り「透析看護を再考」今からの透析に関する看護師として、コミュニケーションスキルを向上させ関係の力を活かしたものとしたいと、再考する良いきっかけになりました。

・とても有意義な講演でした。ありがとうございました。

・とても素晴らしいお話を聞かせていただきました。

・高齢化社会となり、現に認知症看護ケアに戸惑うこともあります。個別ケア、他職種の連携が大切であること。また、自分のスキルアップをまず積極的にしていきたいと思います。

・第1回の講演会でも拝聴できましたが、また今日、水附先生のお話を聞くことができ良かったです。私達1人1人の心の中にある看護師としての意欲を高めてくれるような素晴らしいお話に感動します。これからも腎不全看護に頑張っていこうと改めて思い直しました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。